

石川県原子力環境安全管理協議会 議事概要

1. 日 時：平成 30 年 10 月 16 日（火）13 時 30 分～14 時 38 分
2. 場 所：石川県庁 議会庁舎 1 階 大会議室
3. 出席者：委員 19 名、説明者、事務局他
4. 議事概要：

(1) 「志賀原子力発電所の運転状況等」について、北陸電力から説明があった。

(委員) 大雨によるモニタリングポストの浸水故障について、モニタリングポストは重要な設備であり、安全管理上問題があると思う。今年は過去に経験したことのないような自然災害が発生しているが、この経験を活かして、重要な安全設備がしっかりと機能するかどうかをもう一度よく点検してもらいたい。

(電力) 設計上超えているかどうかではなく、運用上においても、自然災害に対してはしっかりと対応してまいりたい。

(委員) 報道によると、9月21日に開催された原子力規制委員会の志賀原子力発電所2号機への新規規制基準に係る適合性審査会合において、規制委員会から、北陸電力に対して、資料の不備が指摘され、断層の活動性に関する議論が行なわれなかったとのことである。北陸電力には、今後とも県民に不安を与えることのないよう、全社をあげて取り組み、規制委員会に説得力のある資料を提出し、しっかりと審査会合に臨んでもらいたい。

(電力) 今回の審査会合では、地元の皆様にご迷惑をおかけしており、申し訳ございません。審査会合での厳しいコメントを真摯に受け止め、規制当局の方に納得してもらえるように、全社をあげて対応を強化して取り組んでまいりたい。

(2) 「志賀原子力発電所周辺環境放射線監視結果報告書(案)(平成29年度年報)」、「志賀原子力発電所周辺環境放射線監視結果報告書(案)(平成30年度第1報)(平成30年4月～6月分)」、「志賀原子力発電所温排水影響調査結果報告書(案)(平成29年度第4報)(冬季)」、「志賀原子力発電所温排水影響調査結果報告書(案)(平成29年度年報)」について、事務局から説明があり、協議会として承認された。

(3) 「原子力発電所に対する保安検査結果等」について、志賀原子力規制事務所から説明があった。

(4) 前回の議事概要について、事務局からホームページに公開している旨報告があった。

(5) その他

(議長) 北海道胆振東部地震によるブラックアウトの発生により、泊原子力発電所が外部電源を喪失する状況に陥った。志賀原子力発電所では、外部電源が喪失する事案として、どのような場合が考えられるのか。また、もし、外部電源が喪失した場合、どのような対応をとるのか確認したい。

(電力) 今回の北海道のような大規模な地震や地滑りなどにより、志賀原子力発電所への送電線が故障した場合、外部電源が喪失する状況となる。外部電源が喪失した場合においても、非常用ディーゼル発電機により、原子炉や燃料プール冷却等の必要な機器に自動的に電力を供給できるシステムを整備している。また、福島原発事故以降、過酷事故対策として、非常用ディーゼル発電機のバックアップ電源として、高圧電源車や大容量ガスタービン発電機等の整備も行なっている。北陸エリアは、火力発電所、水力発電所が北陸3県に分散して設置されているとともに、中日本、西日本の他の電力会社のエリアと地域間連携線で繋がっているため、北海道全道停電のような事象は比較的起こりにくいと考えている。

(議長) 非常用ディーゼル発電機は、燃料補給がなされるまでどのくらい保つのか。

(電力) 7日間の燃料を準備している。